

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 橋本正巳
新潟県山岳協会
上越市南城町2-3-37
TEL 025-524-7215

事務局 稲田春男
柿崎町百木1023
TEL 0255-36-3958

編集 新山協ニュース編集
委員会代表 諏訪恵一
TEL 0258-35-4373

救急法講習会を終えて

遭難対策委員会 井 春文
(南魚山岳の会)

去る3月14日、吉田町産業会館に於いて協会遭難対策委員会主催で、救急法及びロープワーク講習会が開催された。講師は、日赤新潟支部より3名の指導員、参加者は予想をはるかに上回る17団体62名、急遽資機材を追加手配することになった。

7人のパーティーで10班。初めの方が多く、初めはなかなか要領がつかめないようであったが、終わるころには皆さん要領がつかめたようであった。

受講者が山岳会員であるという点で、山でも使えるようにと指導員の方は内容にも気を配っておられたようで大変ありがたかったです。

に進む内容に途惑った方もいたのではないだろうか。締めくくりに楡井講師によるザックを使用したの背負いのブルアップシステムの講義。実際に即応した内容に皆さん真剣に聞いておられ、特にザックでの搬送には、以外に楽に背負うことが出来ることに驚いていたようです。なお、前記の内容が映彩山岳会編「山岳手帳」にも記されている。

最後になりましたが、真剣に講義された講師の方々、協力頂いた吉田山岳会、映彩山岳会の皆さん、大変ありがとうございました。今回の講習会は参加者が多く好評であったと思います。終了後委員において、16年度はより多くの機会に、より広範囲の方々から参加してもらえようを実施地域、時期を検討し、継続開催を計画します。

我々には普段使うことがほとんど無く、いざ使うときは冷静に行うが難しい技術。たまには仲間同士で練習していただければこの講習が意義あるものになると思います。

当日は天候も穏やかで定刻には参加者全員が集まり予定通りに開始、講習内容は、三角巾を使用するの応急処置、心肺蘇生法、ザックを使用するの搬送法、階段には少ない講習時間に配慮して開始前にも見られるようにと、早々にブルアップのロープがセットされた。

午前中は応急処置。三角巾の扱いに四苦八苦したり、ちよつとした工夫で感心したりで賑やかに進んでいった。午後はダミー人形を使つての人工呼吸、心臓マッサージの心肺蘇生法。一体の人形に5人から

出ておられたようで大変ありがたかったです。しかし限られた講習時間に来るだけ多くを考へる指導員の気持ちとは裏腹に、初めの方は駆け足



講習会の様子

冬山講習会に参加して

朝路の会 浅野 巨寛

平成15年度の県山岳協会の冬山講習会が平成16年2月21日(土)22日(日)の2日間、新潟県赤谷地区俎倉山とその周辺を会場として開催された。

一日目は、「農村婦人の家」を会場に、17時過ぎより阿部指導技術委員長の挨拶で開会となる。その挨拶のなかで今回の講習のテーマである雪崩事故時の迅速救助の不可欠さ、また、積雪期登山に於ける、行動中、停滞中に於いても積雪に對しての観察、予想に敵しい洞察力を持って望めと力説された。また、まだ記憶に新しい関西学院大ワンダーフォーゲル部遭難の例や自身の経験も引用され、重要な食料管理等の生活技術について話された。

続いて行われた講習会では西川指導技術委員が「新山協ニュース」に遭難対策委員長の新井利幸氏が作図掲載された資料を参考にロープワークについて講義された、主な内容は①スリングとメインロー

プのスリングセットの研究②現場におけるメインロープの流動分散支点であった。

また、立ち木へのメインロープの結び方として従来の8の字結びとヨセミテボウライン(変形ブリーン結び)も実習した。

②では日山協では現場に頼れる支点を得られぬ場合流動分散の形式を採用するとの事。ザイル結束の場合、例会又は各々で反復練習して現場でまごつかぬのが肝要と改めて認識した。

引き続き、嶋原指導技術副委員長より翌日行われる、ピーコン、ゾンデ等の事前講習が行われ、その冒頭で冬山に於いて雪崩の発生を予知して未然の防止策を取る事、雪崩事故時の何よりも迅速な救助の必要さから雪崩遭難救助に不可欠の「三種の神器」とも言われる、ピーコン、ゾンデ棒、スコップは冬山では必需品でその取り扱い、操作法を熟知し現場で対応出来る様にとの

事で講義に入る。ピーコンの使用方法的他、不幸にして雪崩事故発生後、現場に残されたメンバーでの発見、救出に際しての冷静な判断、捜索の手順、また、埋没者が重大な損傷を負わず、死亡していない場合、埋没してから15分以内の発見救出であれば93%の生還率との事。ピーコンで埋没者を5分で特定して、ゾンデ棒を使って5分で探索、スコップで5分での収容が目処との事。生存ラインが15分として「三種の神器」を装備していたとしても日頃よりの心構え、技術の習熟を心掛けた。限られた時間での講義ではあったが他の受講者の熱気も伝わり、翌日の実技講習が待たれる有意義な講義であった。その後言わずとも心待ちの懇親会は各々持ち寄りの銘酒や担当山岳会が用意された心尽くしの豚汁を囲み北村会報編集副委員長の乾杯の音頭で始まり夜も更ける迄親睦を深める宴となった。2日目は5時30分起床、7時各々の車で登山口への移動となった。実技講習は登山口を僅かに行つた釜ヶ沢林道脇の広場で行われた。阿部指導技術委員長の



ゾンデ棒による実習

講習に際しての注意事項並びに挨拶があり、次いで1日目の事前講習に基づいて嶋原指導技術副委員長指導の下、リュックに発信器をセットして疑似埋没者と想定しピーコンで探索実習に入る。事前講習での埋没から救出まで15分の短時間が頭をよぎる、受講者はピーコンの振り方一つにも神経を集中している。技術習熟の心掛けを実感する。ゾンデ棒による探索に関して今回は、粗いゾンデ法を実技講習との事で、又埋没体験による恐怖感と雪の圧力、ゾンデ棒による人体感触、雪中からの声の聞き取りの難しさ、埋没者収容の折の低体温症を防ぐ為の収容方法など貴重な体験、学ぶべき大の实技講習で有った。集合写真を撮って8時30分予定の实技講習を終了。阿部指導技術委員長より今後の行動予定の伝達がありその後15時登山口下山集合を目途に8時40分俎倉山の登山を開始する。今回の参加者は62名との事。天候に恵まれ全真山スキー、カンジキ、スノーシューで出発。杉木立の林道を行く事しばし、迂回する林道をカットして尾根に取り付きほとんどラッセル無しで天気も良く、頂上解散という事もあって各々気持ち良く順調に12時頃には殆ど全員頂上に着く、展望は言わずもがなで恵まれた俎倉山登山となった。昼食後は各々ワカン、スキーの足前に合わせて下山、スキーは雪質のせい、足前のせいかな登高時より汗をかいて14時30分頃に登山口に到着。15時前には全員が無事下山して、有意義で実り多い講習会が終了したが、実技講習に関しては今回学んだ貴重な体験、知識は機会を作り反復、練習の必要性を強く感じた講習会であった。

山の水は水道につながっている!

矢筈山岳会では、地元白山に登る登山者に、パンフレットを配って、「簡易トイレ」の使用を呼びかけている。パンフレットの内容を紹介するので、山での排泄について改めて考えていただければ幸いである。

「山の水は水道につながっている!排泄には、「簡易トイレ」を使用ください。」
白山避難小屋周辺では、登

山者の皆様の排泄行為が問題視され、特に冬期間、避難小屋乃すぐ脇で用を足された後のティッシュの花が、春にマンサクの花と一緒に咲いているのを見ると、やりきれない思いがします。

今までに、出るものをおかずとした排泄行為を、山の水は水道につながっていることに、考え直してみてください!この度、避難小屋を管理し

ている当山岳会で、簡易トイレ「エコパック」を試行設置し、山の水質汚染防止に乗り出し、登山者の皆様のご協力を願うものです。

用を足される方は大変恐縮ですが、実費代金の300円を、一回の階段裏側のチップ投入口へ入れてから、ボックスより簡易トイレ「エコポット」を一個取り出してください。

後は使用説明書に従い、野外で使用してみてください。もちろん、排泄物は自宅まで下ろしてトイレで始末されるか、可燃ごみに出してください。

い。皆様の良識ある後始末を信じ、ご協力を期待しております。
（矢筈山岳会）
なお、簡易トイレについてのお問い合わせは、

〒959-1170
1 村松町石曾根7243
佐藤 睦方
矢筈山岳会事務局までお願いします。



白山避難小屋周辺では、登山者の皆様の排泄行為が問題視され、特に冬期間、避難小屋のすぐ脇で用を足された後のティッシュの花が、春にマンサクの花と一緒に咲いているのを見ると、やりきれない思いがします。

今まで、出るものはおかずとした排泄行為を、山の水は水道につながっていることに、考え直してみてください!この度、避難小屋を管理している当山岳会で、簡易トイレ「エコパック」を試行設置し、山の水質汚染防止に乗り出し、登山者の皆様のご協力を願うものです。

用を足される方は大変恐縮ですが、実費代金の300円を、一回の階段裏側のチップ投入口へ入れてから、ボックスより簡易トイレ「エコポット」を一個取り出してください。

後は使用説明にしたがいが、野外で使用しててください。もちろん、排泄物は自宅まで下ろしてトイレで始末されるか、可燃ごみに出してください。皆様の良識ある後始末を信じ、御協力を期待しております。

平成15年8月吉日 矢筈山岳会会長



最初に発見したアンモナイト(梅海新道菊石山産)

山と岩石

さわがに山岳会 小野 健

③ アンモナイトのある来馬層群の山々

飛騨山脈は、朝日岳北部の岩瓦礫や高層湿原帯を経て、黒岩山に達します。山頂より眺める北延の山並みは、非対称細稜となつて、梅海新道沿いに日本海へ向かうのです。3月頃になると、新潟県側に張り出す、アルプス芸術の超一級品を思わせる雪庇が発達します。

植生も亜高山体が変わり、1,600m上下の長い稜線は、中生代ジュラ紀の来馬層群砂岩泥岩の堆積岩層(1.6億年)が続きます。さわがに山・犬ヶ岳(*岩・珪長岩貫入)、そして梅海山荘まで来ると、眼下に日本海が広がってきます。

菊石山は、山頂近くでアンモナイト(菊石)を発見したので付けた山名です。ここから白鳥山までは、砂岩泥岩の互層となり、砂質泥岩中に、羊歯植物(クラドフレビス)・イチヨウ類・球果類(ポドザミテス)・斧足類(二枚貝)など、多種類の化石を産します。

さらに高度を上げると、アンモナイトから恐竜時代の地層に変わっていくのです。

新潟発の格安航空券は
おまかせください。

株式会社 **ユニオン航空サービス**

国土交通大臣登録旅行業第553号

■長岡営業所 長岡市幸町1-3-5 TEL0258-33-7123
■新潟営業所 新潟市米山3-2-11 TEL025-246-2266

第1回クライミング指導員講習会 およびジュニア講習会開催(報告)

クライミング委員会

委員長 内山 豊

4月18日(日)(10時~15時)、せきかわふれあいドームクライミングウォールを会場に第1回クライミング指導員講習会およびジュニア講習会を開催しました。受講者は2名と数名の子供達でした。

人数が少なかつた分きつちり指導ができたように思います。第1回目目準備期間が少なく、広報が広くできなかったため参加者が少なかつたと思います。

次回は、5月16日(日)、「糸魚川市総合体育館クライミングウォール」での開催を予定していますので、多くの参加をお願いします。

お知らせ

◇第38回自然保護研修会

日時 5月15日(土)~16日(日)

受付14時、開会15時

会場

北都山友荘(阿賀野市出湯)

TEL 02540-62-1861

講師

新津市文化振興財団 植物
文化アドバイザー
石沢進氏

行事日程

研修会終了後懇親会

16日 菅名岳登山

参加費

二千元(1日のみは千円)

申込先

〒943-0831

上越市仲町2-7-4-6

山本優子方

自然保護委員会事務局

FAX 025-526-1519

申し込みは葉書かFAXで
締切り 5月12日

山岳遭難共済

	契約基本タイプ				
	A	B	C	D	E
死亡・後遺症	180万円	200万円	300万円	400万円	1000万円
遭難捜索費用	200万円	200万円	250万円	350万円	500万円
個人賠償責任		1億円	1億円	1億円	1億円
会費	5,500円	6,200円	8,000円	11,000円	18,000円

※上記各コースには、入院・通院の保証は付帯されません。

	保険金額(1日につき)
入院	3,300円
通院	1,000円
追加会費	4,000円

※入院保険金・通院保険金を付帯する場合は、4,000円が各コース会費に加算されます。

特別共済

タイプ	I型	II型
会費	3,000円	6,000円
死亡・後遺障害保険金	300万円	300万円
救援者費用保険金	300万円	300万円
個人賠償責任保険	1億円	1億円
入院保険(1日につき)	2,000円	4,000円
通院保険(1日につき)		1,700円

海外登山共済

死亡・後遺障害	100万円
救援者費用	500万円
個人賠償責任	1億円
追加会費	10,000円

※海外登山共済は、この保険単独では加入できません。

登山・アウトドアの専門店

 **ICI 石井スポーツ**
新潟駅前店

新潟市東大通2丁目5番1号 ☎(025)243-6330(代)

登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー


Mountain & Outdoor
Parr Mark

パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200・FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>